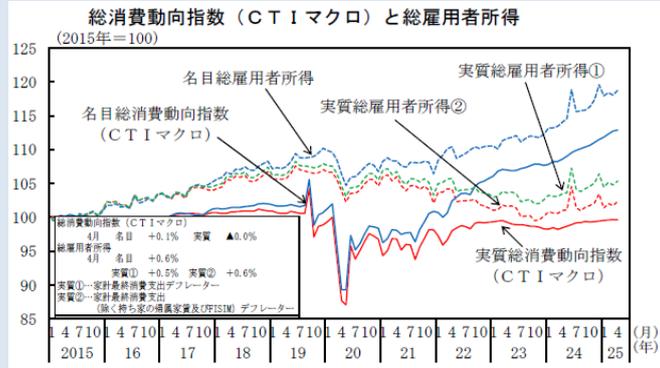


| 月例経済報告（2025年6月）

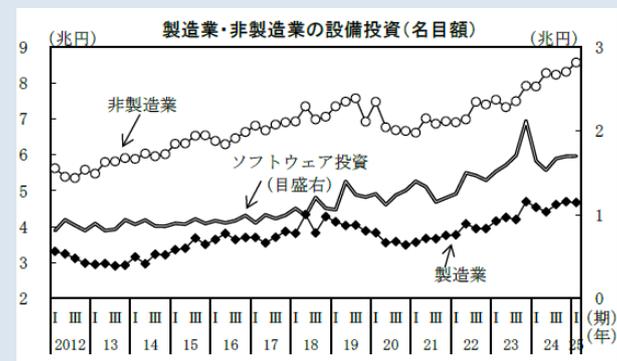
● 月例経済報告（6/11）

基調判断	(6月) 景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。
	(5月) 景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクが高まっている。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要がある。

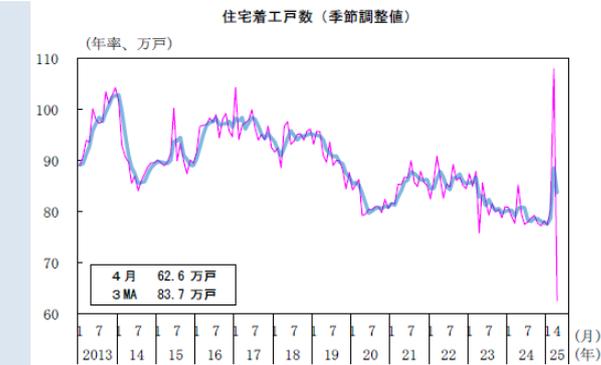
個人消費	(6月) 消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる
	(5月) 消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる



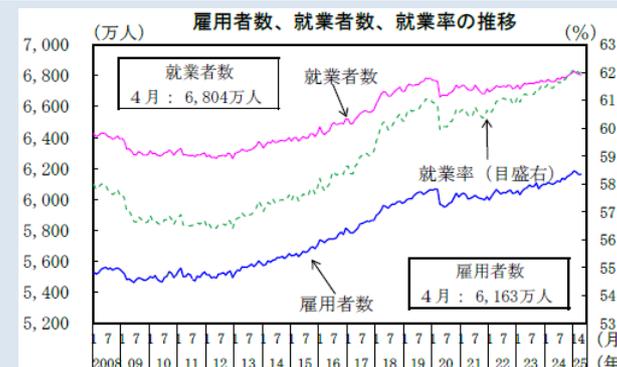
設備投資	(6月) 持ち直しの動きがみられる。
	(5月) 持ち直しの動きがみられる。



住宅建設	(6月) おおむね横ばいとなっている。
	(5月) おおむね横ばいとなっている。

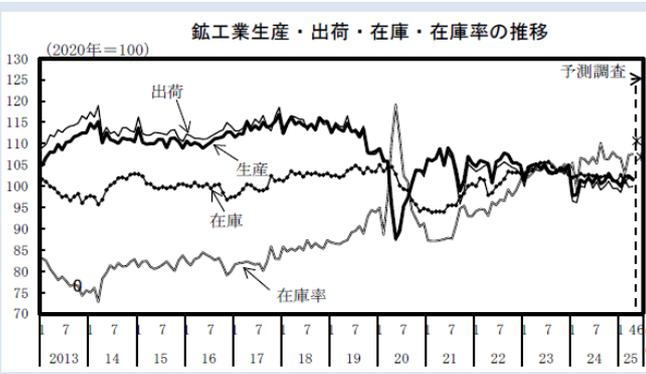


雇用情勢	(6月) 改善の動きがみられる。
	(5月) 改善の動きがみられる。



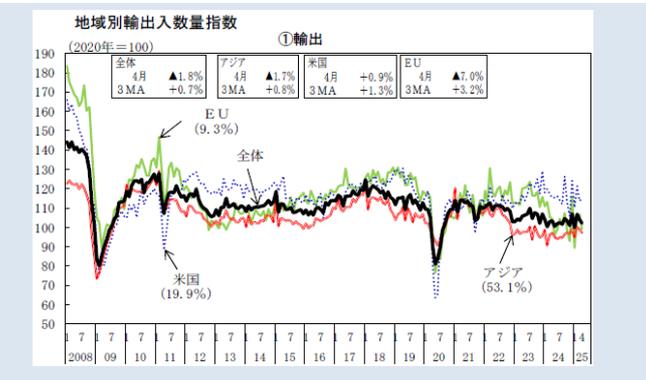
生産 (6月) 横ばいとなっている。

(5月) 横ばいとなっている。



輸出 (6月) このところ持ち直しの動きがみられる

(5月) このところ持ち直しの動きがみられる



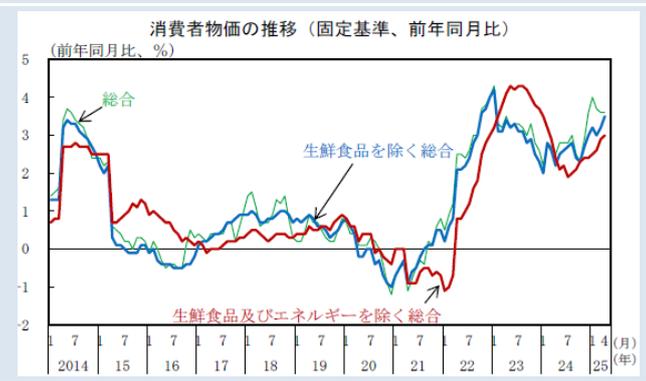
国内企業物価 (6月) 緩やかに上昇している。

(5月) 緩やかに上昇している。



消費者物価 (6月) 上昇している

(5月) 上昇している



海外経済 (6月) 世界の景気は、持ち直しているが、一部の地域において足踏みがみられるほか、米国の通商政策による不透明感がみられる。先行きについては、通商政策による影響の広がりから、持ち直しの動きが弱まる可能性がある。また、今後の通商政策など米国の政策動向による影響等による下振れリスクや金融資本市場の変動の高まりの影響等に留意する必要がある。

(5月) 米国では、景気の拡大が緩やかとなる中、関税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動の影響、不透明感がみられる。先行きについては、通商政策が物価や消費等に与える影響から、その勢いが更に弱まる可能性がある。また、高い金利水準の継続に伴う影響による下振れリスク、今後の通商政策など政策動向による影響に留意する必要がある。

月例経済報告：内閣府